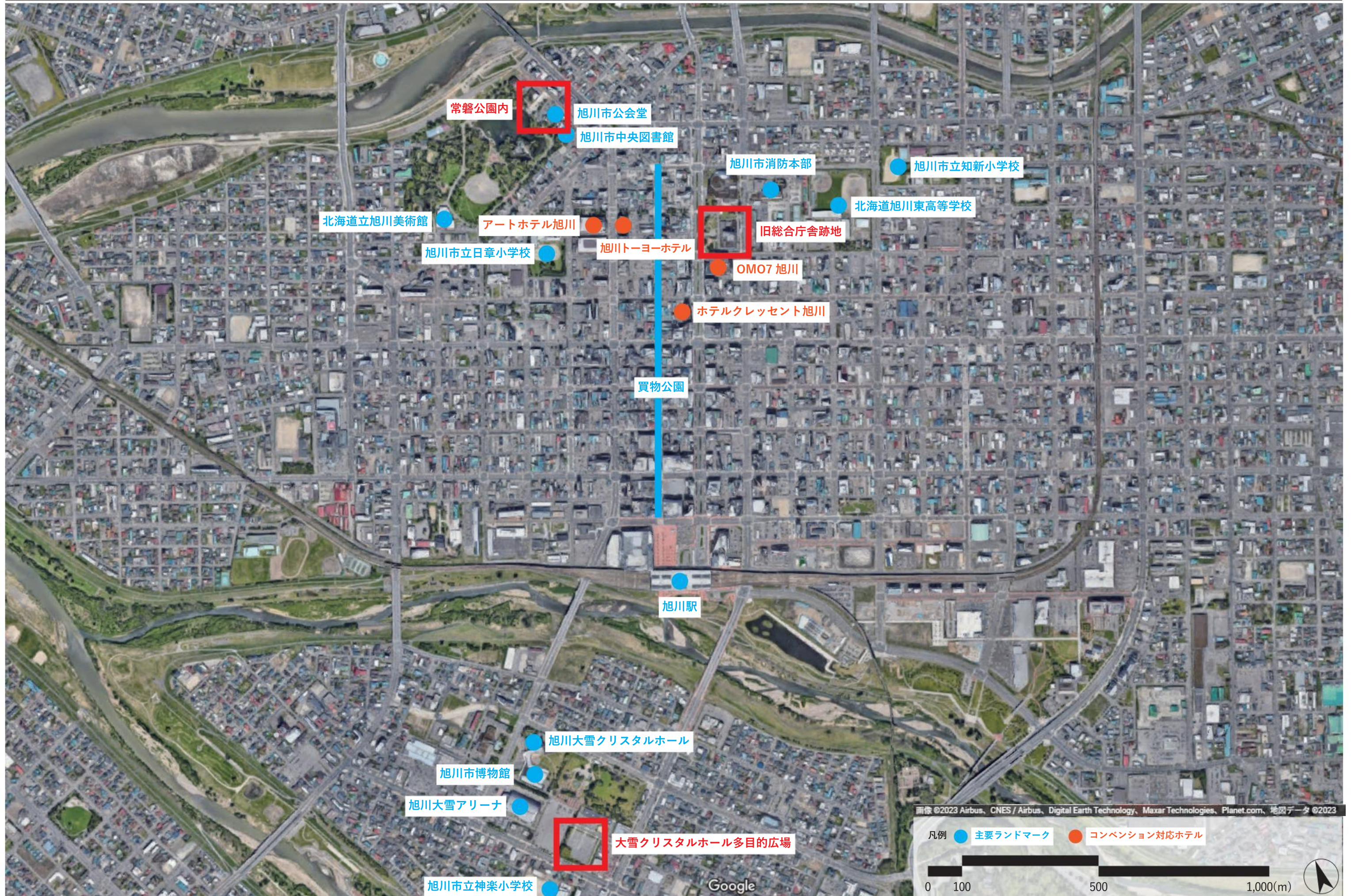


# これまでの会議で意見があった敷地の比較

建設場所に求められる条件等を整理するための参考として、これまでの会議の中で意見があった場所の敷地の要素について、以下に記載した。

画像©2023 Airbus、CNES / Airbus、Digital Earth Technology、Maxar Technologies、Planet.com、地図データ©2023

項目	旧総合庁舎跡地	大雪クリスタルホール多目的広場	常磐公園内	現旭川市民文化会館
敷地航空写真				
位置（所在地）	6条通9丁目	神楽4条8丁目	常磐公園	7条9丁目
概算敷地面積（㎡）	12,000	9,887	—	11,441
用途地域（容積率・建ぺい率）	商業地域(400%,80%)	第二種住居地域(200%,60%)	—	商業地域(400%,80%)
最大建設可能な延床面積（㎡）	48,000	19,774	—	45,764（現12,034）
最大建設可能な建築面積（㎡）	9,600	5,932	—	9,153（現6,101）
まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中心市街地に位置し、効率的な公共サービスの提供や、周辺の民間事業者への波及効果が期待できる</li> <li>・市内各所からアクセスしやすい場所に、市民が気軽に立ち寄り滞留可能な居場所を形成できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化芸術活動に特徴のあるエリアを市内に形成することができ、市内外へ拠点を分かりやすく示すことができる</li> <li>・オープンスペースであるクリスタルパークと連携して文化芸術活動に適したエリアを創出しやすい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・独立したオープンスペースである常磐公園と連携したユニークな文化芸術活動ができるエリアを創出しやすい</li> <li>・常磐公園で機能や活動が完結できるものの、周辺への波及効果や利用者の多様性が期待しづらい</li> </ul>	—
文化芸術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7条緑道を通じて常磐公園等の文化芸術エリアと近接しており、連携した活動が可能</li> <li>・市庁舎と隣接しており、日常的な利用やついで利用など、市民が気軽に立ち寄ることで、芸術文化に触れるきっかけづくりが期待できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化芸術に関わる機能を集約・集積することで、エリア内で効率的なサービスを提供することができる</li> <li>・豊かな自然を有する屋外空間が付近にあり、文化芸術を鑑賞する前後の気持ちを高めることができる</li> <li>・文化芸術に関心が高い人にとって居心地の良い空間である一方、日常的な利用やついで利用が難しくなるおそれがある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化芸術に関わる機能を集約・集積することで、エリア内で効率的なサービスを提供することができる</li> <li>・豊かな自然を有する屋外空間に面しており、文化芸術を鑑賞する前後の気持ちを高めることができる</li> <li>・文化芸術に関心が高い人にとって居心地の良い空間である一方、日常的な利用やついで利用が難しくなるおそれがある</li> </ul>	—
道北の中心施設（コンベンションの視点）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多数の会場が必要になる大規模イベント等の開催時、コンベンションに対応可能なホテルからいずれも近く、ホテルと連携することで様々なイベントが開催可能</li> <li>・イベント前後の移動がしやすい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多数の会場が必要になる大規模イベント等の開催時、近接する大雪クリスタルホールや大雪アリーナと連携することで、十分な会場を確保可能</li> <li>・コンベンションに対応可能なホテルからは遠く、イベント前後の移動手段の確保が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旭川駅や、一部を除きコンベンション対応ホテルからやや距離があり、多数の会場が必要になる大規模イベント等の開催や、イベント前後の移動がしづらい</li> </ul>	—
土地の広さ・形状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一定の面積を有しており、土地の形状的に施設の建設に問題はない（7条駐車場の敷地を含めて活用した場合）</li> <li>・一定の面積を有する搬出入スペースの確保が可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地の形状的に問題はないが、土地の面積がやや狭い</li> <li>・一定の面積を有する搬出入スペースの確保が可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公会堂・旧川のおもしろ館敷地の場合、土地の面積がやや狭く、縦長の敷地であるため、施設の建設に工夫が必要</li> <li>・公会堂・旧川のおもしろ館敷地の場合は、搬出入経路及びスペースの確保に課題がある</li> </ul>	—
利用者のアクセシビリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幹線道路に面しており、アクセシビリティが高い</li> <li>・バスの本数や市内各方面への移動経路が充実したバス停に近接しており、乗換えせずに移動可能な地域が多い</li> <li>・駐車場の確保策検討は必要であるが、周辺に民間駐車場が多く存在する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幹線道路に面しており、アクセシビリティが高い</li> <li>・バス停に近接しているが、路線数が限られており、乗換えが必要となる地域が多い</li> <li>・大雪クリスタルホールや大雪アリーナとイベントが重なる際に備えて相当の駐車台数が必要となるが、周辺に民間駐車場がないことに加え、渋滞発生等のおそれがある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公会堂・旧川のおもしろ館敷地の場合、幅員が狭い道路のみの接道のため、貸切バスなど大型車両の乗入・乗降がしづらいことに加え、渋滞発生等のおそれがある</li> <li>・バス停にやや近いが、移動先の地域によっては乗換えが必要</li> <li>・駐車場の確保策の検討が必要であり、周辺に民間駐車場も少ない</li> </ul>	—
敷地の安全性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危険性は特になく、また、災害時における避難・救護活動のための敷地の確保が見込める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・洪水ハザードマップ上、敷地の半分以上が3.0m以上5.0m未満の浸水の可能性があるエリアとなっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・洪水ハザードマップ上、敷地全体が0.5m以上3.0m未満の浸水の可能性があるエリアとなっている</li> </ul>	—
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧総合庁舎跡地は駐車場として活用する予定であること、7条駐車場の解体が必要であることから、一時的に新庁舎の市民駐車場の台数が減ることになる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大雪クリスタルホール、大雪アリーナ等の臨時駐車場として使用されている。周辺施設のイベントによっては当該多目的広場も含め、駐車場として利用されることも多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公会堂・旧川のおもしろ館敷地の場合、既存施設の解体が必要である</li> </ul>	—



画像 ©2023 Airbus, CNES / Airbus, Digital Earth Technology, Maxar Technologies, Planet.com, 地図データ ©2023

凡例 ● 主要ランドマーク ● コンベンション対応ホテル

0 100 500 1,000(m)

Google